

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月09日

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（地域活性化）												
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大阪市												
計画の目標	アジア諸国の経済発展と産業活動のグローバル化が進展するなか、国際海上コンテナ輸送における西日本のゲートポートとして国際競争力の強化を図るため、港湾機能を拡充する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	406	A	406	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R7当初)	中間目標値 (R9末)	最終目標値 (R11末)
1	大阪港港湾計画に位置付けられた目標を達成させるため、令和11年度までに夢洲道路等の整備達成率を92%から100%に向上させる。 当計画で整備を行う夢洲道路等の整備達成率の割合を指数とする。 夢洲道路等の整備達成率の割合（対象6.0ha）	92%	92%	100%
2	交差点改良や舗装改良を行うことにより、令和11年度までに道路改良の達成率を74%から100%に向上させる。 当計画で整備を行う道路改良の達成率の割合を指数とする。 道路改良達成率の割合（対象4,870m）	74%	74%	100%

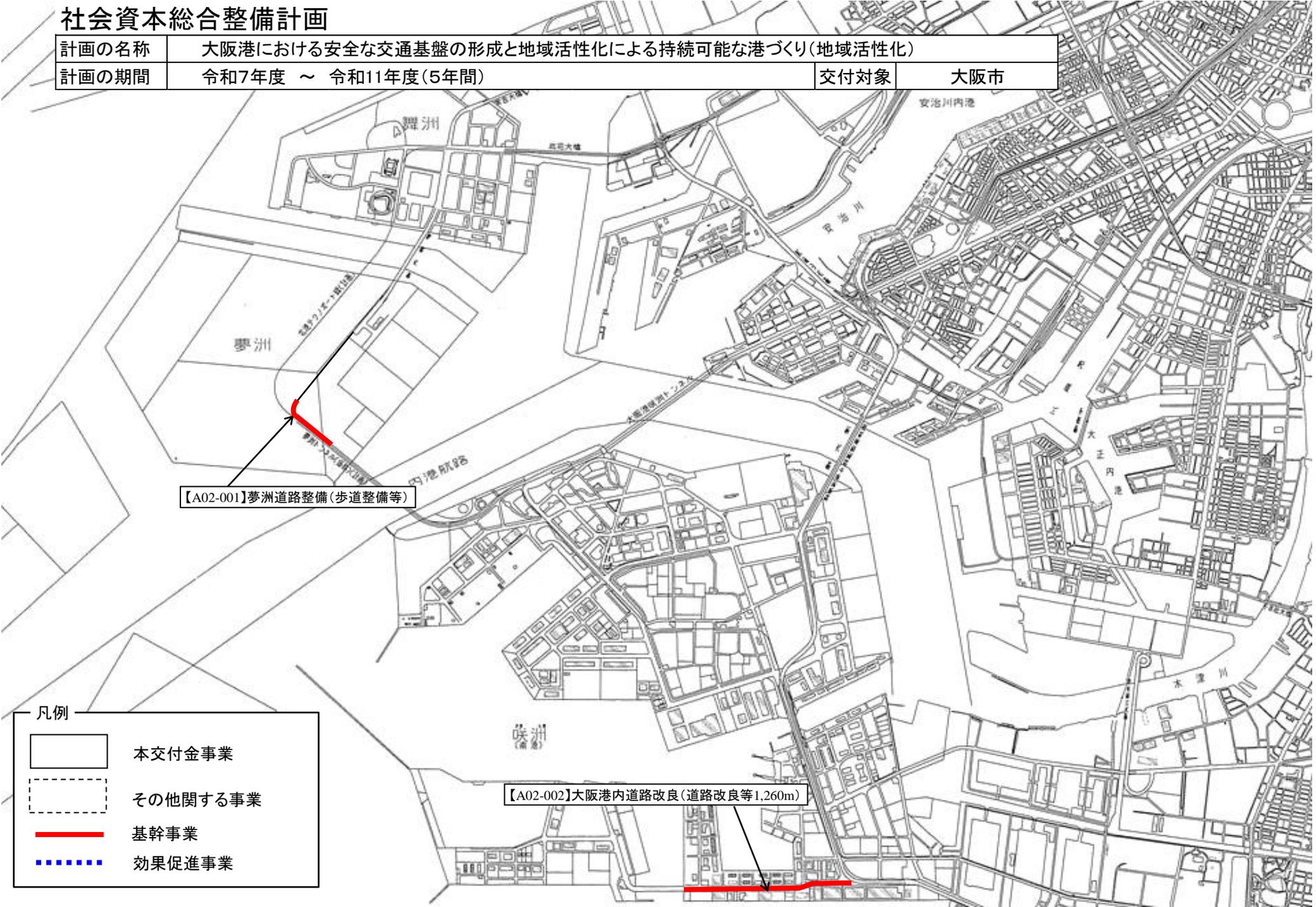
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	大阪市	直接	-	戦略	建設	夢洲道路整備	歩道整備等	大阪港・夢洲地区						46	-	-
	R6以前：A02-001																		
	A02-002	港湾	一般	大阪市	直接	-	戦略	改良	大阪港内道路改良	道路改良等	大阪港・南港地区						360	-	策定済
	R6以前：A02-004																		
											小計						406		
											合計						406		

社会資本総合整備計画

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり(地域活性化)		
計画の期間	令和7年度 ~ 令和11年度(5年間)	交付対象	大阪市



【A02-001】夢洲道路整備(歩道整備等)

【A02-002】大阪港内道路改良(道路改良等1,260m)

凡例

	本交付金事業
	その他関する事業
	基幹事業
	効果促進事業

事前評価チェックシート

計画の名称： 大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（地域活性化）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 大阪港港湾計画や社会資本整備重点計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて港湾整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 持続可能な港づくりという観点から、適切な整備箇所が位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 市民や利用者の意向を踏まえた計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 持続可能な港づくりを進めることは、官民共通の認識となっている。	○